

## 溶出試験

### クアゼパム錠 15mg 「日医工」

#### 溶出試験条件

装置	日本薬局方 溶出試験法 パドル法	液量	900mL	温度	37±0.5℃
----	------------------	----	-------	----	---------

#### 溶出試験結果

回転数	試験液	判定
50rpm	pH1.2	f2 関数の値は 55 以上であった。
	pH4.0	f2 関数の値は 55 以上であった。
	pH6.8	f2 関数の値は 55 以上であった。
	水	f2 関数の値は 55 以上であった。
	pH1.2 ポリソルベート 80 0.5%添加	f2 関数の値は 45 以上であった。
	pH4.0 ポリソルベート 80 0.5%添加	f2 関数の値は 45 以上であった。
	pH6.8 ポリソルベート 80 0.5%添加	f2 関数の値は 45 以上であった。
100rpm	pH4.0 ポリソルベート 80 0.5%添加	f2 関数の値は 45 以上であった。

クアゼパム錠 15mg 「日医工」 の溶出挙動を標準製剤（ドラル錠 15）と比較した結果、上記全ての条件において「生物学的同等性試験ガイドライン」の判定基準に適合した。

